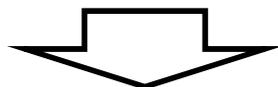


対策の検討

台風第18号の浸水被害を踏まえた今後の治水対策の方向性

課題	対策の着眼点（対策の方向性）
流域全体の治水安全度の向上 ・ 計画を超える降雨規模 ・ 降雨波形が「後方集中型」 ・ 既存施設の有効活用	→ 「流域水害対策計画」の適応性の確認 → 「流域水害対策計画」に位置づけた対策の早期完成 → 既存施設（遊水地・放水路）の有効活用による機能強化 → 「流域水害対策計画」の変更も視野
同じ被害を繰り返さない対策 （再度災害防止） ・ 内水被害の早期解消 ・ 既存施設の有効活用	→ 内水被害の発生原因の把握 → 「流域水害対策計画」に位置づけた内水対策の早期完成 → 「流域水害対策計画」に含まれない地域の内水対策の検討 → 流出抑制対策の促進（各戸貯留を含む）
維持管理の充実 ・ 河川管理施設の老朽化等 ・ 巴川本川の土砂堆積 ・ 排水路の土砂堆積	→ 樋門、排水ポンプ等の適切な管理 → 本川の堆積土砂の浚渫 → 排水路の堆積土砂の浚渫 → 山地、傾斜地からの土砂流出軽減
被害軽減対策の推進 （ソフト対策の充実） ・ 自動車浸水被害の軽減 ・ 住民の円滑な避難	→ 自動車等の浸水防止、早期自主避難の促進 → 警戒避難体制の拡充



「流域水害対策計画」の各メニュー毎に時間的目標を設定